

新しい 人材活用 プロシアリング

外部プロ人材 活用成功事例



(株)サーキュレーション
代表取締役 福田 悠

No.60 品質管理の仕組みを構築し、不適合品廃棄を改善

プロシアリングとは、高い職能を持って複数企業で同時に活躍するプロフェッショナルを、経営課題に合わせて「雇用」ではなく「活用」という、新しい人材活用の手法です。2014年の設立以来、サーキュレーションには28,000名以上のプロが登録し、20,000件以上のプロジェクトで実績を上げてきました（2025年1月末時点）。プロジェクトは経営要素の強い案件が多く、新規事業の企画推進や、人事・広報等のミドルオフィス支援、さらにはIPO関連から中期経営計画の策定、CFOのシェアなども実行しています。

ネジ部品の年間出荷 5 億本 高品質の体制構築を目指す

今回は、株式会社富信様（以下、同社）が、プロ人材と共に品質管理体制の強化プロジェクトに取り組んだ結果、長年悩まされていた不適合品の廃棄の継続的な減少に成功した際のプロシアリング活用事例をご紹介します。

同社は1973年の創業以来、岐阜県八百津町に根差してねじ類の製造を手掛けてきました。1992年には各種パーツ品の生産体制を

整え、工場を増設。工程管理システムを導入し、ISO9001およびISO14001の認証取得に加え、はるかに高い精度と品質が求められるJIS Q9100（航空宇宙品質マネジメント）にも登録。パーツホルマーやローリングマシン、ねじ転造機、自動タッパーなどを備え、特注品を含む多種多様な製品を提供しています。従業員75名で、年間出荷本数は約5億本。製品によってはわずか1gに満たない小さな製品ですが、自動車部品・圧造特殊パーツ・六角穴付きボルトの製造販売、家電部品・自転車部品・コンピューター部品などに使用されています。

課題 不適合品の廃棄を減らし 安定生産体制を築きたい

同社が手掛けるプロダクトのなかでも特に自動車部品は、製造段階から高いクオリティが求められます。製造過程が複雑で高難度のものが多く、一定数発生する不適合品をいかに減らしていくかが課題でした。そこで、廃棄・不適合品となる本質的な原因を特定し、具体的な改善活動に取り組み、より高い品質を追求し、顧客から信頼される体制を築いていきたいと考えていました。また、JIS（日

本工業規格）に則って製造する汎用部品に関しても属人化することなく、品質を均一化し安定的に生産していける方法を構築したいと考えていました。そのような状況下、必要な時に専門性の高い人材を雇用せず活用できる「プロシアリング」に出会いました。

解決策 マニュアルを作成し 品質管理活動を徹底

サーキュレーションからはプロ人材のご紹介とともに「品質管理体制の強化」という解決策をご提案しました。

今回ご紹介したプロ人材の永野眞氏はキャノン株式会社にて約30年、全社の生産戦略立案、国内／海外の生産会社・工場の設立、生産性向上活動に加え、生産自動化機器／精密加工測定機器の開発製造など様々な業務に従事。その後サムスン電子株式会社では、工場長、プロジェクトリーダーとして、中国の新工場立ち上げから操業まで担当してきた経験をお持ちです。製造業における生産拠点群の戦略立案や生産工場事業企画、経営などに強みを持つプロ人材です。

●現状把握・ゴール設定

まずは、現場の実態を正確に把握し、どの部分に改善の余地があ

■福田 悠

中央大学理工学部を卒業後、インテリジェンス（現パーソルキャリア）へ入社。製造業を中心とした約600社の人材採用を支援。大手法人顧客専門部門を経て、同社初となる社内ベンチャーの立ち上げに携わる。2014年、サーキュレーションの創業に参画。中小企業や製造業大手顧客を担当しながら、地方金融機関とのアライアンス、地方7拠点の設立を主導。2023年4月より代表取締役社長に就任。

■株式会社サーキュレーション

本社：東京都渋谷区神宮前 3-21-5 サーキュレーションビル ForPro

TEL：03-6256-0467 URL：https://circu.co.jp/

成功事例

- ：
No.55 DX戦略の全社認識を統一シグランドデザイン策定に成功
No.56 上場に合わせて、ブランディング戦略を策定・実行
No.57 専門人材の採用力を高め、適材確保とコスト半減に成功
No.58 起案者をサポートし、社内ベンチャー制度を成功へ導く
No.59 社員と会社の成長を支える人事制度の刷新に成功
No.60 品質管理の仕組みを構築し、不適合品廃棄を改善
：

るのかを明確にすることを重視し、現場作業員へのヒアリングを実施。その結果を基に具体的な数値目標を設定しました。

●マニュアルの作成

次に、現場での作業効率を向上させるため、標準的な作業のマニュアルを作成しました。具体的にはボトルネックとなる工程の改善サポートや製造ラインのバランス調整によるリードタイムの削減、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）活動の推進、工場内の動線分析と改善などにおけるマニュアルを現場に合わせて作成しています。

●現場への浸透支援

そして、改善策を現場に定着させるため、品質管理活動に立ち会いながら実践的な導入支援を行いました。現場社員が改善活動を理解し自ら実行できる状態を目指し、必要に応じて個別に現場社員との面談も行いました。

●改善モニタリング

支援活動を通じて得られた効果をモニタリングし、改善活動が継続的に行われているかを確認しました。また、現場の管理職に対して直接指導を行い、現場全体の改善意識を高めることを目指しました。

成果

**品質管理の仕組みを構築
不適合品の廃棄数も改善**

同社はプロシエリングの活用により、品質管理体制の強化に着手し、長年悩んでいた不適合品の



左：プロ人材 永野 眞氏

中央：株式会社富信 代表取締役社長 各務 正敏氏

右：サーキュレーション リーダーコンサルタント 加藤 かれん

廃棄の継続的な減少に成功しました。一連のプロジェクトを通じて同社は具体的に以下の3つの成果を実感されています。

- ①クレームや不適合品に対してこれまでは発生時点での対応にとどまっていたが、深因・真因追求、仮説検証、実験の検証、再発防止策の立案を進めて技術の確立へ着手できた
- ②その結果、不適合品の廃棄が前年比で26%減少した
- ③目標管理や品質改善活動に向けた毎月の定期会議において課題をリスト化し、それを基にアクションを行うといった組織体制を構築できた

プロシエリング×品質管理プロジェクトでの支援ポイント

自社の成長基盤を創るために、自社内で推進できる人材の確保に向けて社内異動や兼務、採用活動を強化する方法がある一方で、実

際に各分野での支援実績が豊富な人材に伴走してもらうことも非常に効果的だと感じられる事例です。また、社内メンバーの人脈以外でプロ人材を探す手段として、業務委託での支援を通じてアドバイザーになってもらう方法があります。雇用する場合と比較してミスマッチなどのリスクを低減できる点も有効な手段となりえます。

製造業における生産管理体制の構築、生産性向上活動のみならず生産拠点群の戦略立案や生産工場事業企画、経営などまで経験し実行できる人材というのは、実際に採用するとなると非常に希少価値が高く、採用が長期化することも考えられます。仮に良い人材に出会えたとしても、採用競合となる企業も多く、給与も高い傾向にあります。そのような人材を採用したいという要望があった場合はプロシエリングの活用を検討・提案してみてもいかがでしょうか。